

## ＝ 京都支部研究発表会の投稿要領および原稿書式 ＝

### 1. 研究発表申込み

(1) 研究発表希望者は、講演要旨原稿の投稿に先立ち、

- ①表題（仮題でも可）
- ②発表者名，所属
- ③連名者名，所属
- ④発表者の連絡先電話番号
- ⑤発表者のメールアドレス

を箇条書きにしたメールを「**発表申込み**」という件名で下記の申込先に送信してください。事務局にて受信が確認され次第、受信確認メールを返信いたします。

(2) 申込み期限

2026年7月31日（金）

(3) 研究発表の申込先

岐阜大学工学部 小島悠揮

E-mail : kojima.yuki.c8[at]f.gifu-u.ac.jp ([at]を@に)

### 2. 投稿要領

(1) 発表者は学会員に限らない。ただし、連名者に少なくとも1名は学会員が含まれること。

(2) 講演要旨原稿（MS Word と PDF の両方）および投稿票（MS Excel）を下記（4）に記載の提出先に E-mail で送付してください。講演要旨原稿および投稿票の作成については、下記3. および4. をご参照ください。事務局にて受信が確認され次第、受信確認メールを返信いたします。

(3) 投稿期限

2026年8月31日（月）

(4) 提出先

岐阜大学工学部 小島悠揮

E-mail : kojima.yuki.c8[at]f.gifu-u.ac.jp ([at]を@に)

### 3. 講演要旨原稿

講演要旨原稿は、下記の5. 講演要旨原稿の書き方に従って作成し、MS Word と PDF の両方のファイルを提出してください。なお、ファイル名は、それぞれ「**原稿\_発表者氏名.docx**」および「**原稿\_発表者氏名.pdf**」としてください。

※PDF 作成時に体裁がずれたり、図表が不鮮明になったりすることがありますので、投稿前に必ず確認してください。原則、事務局では原稿の修正は一切致しません。

#### 4. 投稿票

- (1) 投稿票ファイルは、必ず学会ホームページの「第 83 回農業農村工学会京都支部研究発表会の開催について」内に設けられたリンク先からダウンロードした Excel 形式のファイルを利用し、ファイル名は「**投稿票\_発表者氏名.xlsx**」としてください。
- (2) ファイル内の「こちらに記載のこと」と書かれたシートに入力を行い、数字・記号は半角を使用し、罫線、半角カナは使用しないでください。（「印刷用シート」には、入力内容が自動反映されます。）
- (3) 会員番号を必ず記入（非会員の方は「非会員」、入会手続き中の方は「手続き中」と記載）してください。
- (4) 講演の概要は、必ず日本語で目的・方法・結論について分かりやすく記載してください。
- (5) 投稿票のデータをプログラム編成に使用しますので、講演者氏名、所属機関、講演題目（副題も含めて）は必ず本文の記載と一致させてください。なお、英文の場合は邦訳を加えてください。
- (6) 講演希望部門（水理、水文・水質・気象、土壌物理、土質力学、応用力学、材料・施工、施設管理・更新、灌漑排水、農地造成・整備・保全、農村計画、環境保全、生態環境、情報処理・その他）、キーワードを必ず入力してください。キーワードは講演内容にふさわしいものを文字で記入してください。

#### 5. 講演要旨原稿の書き方

- (1) 図表も含めて 2 ページとします。
- (2) 原稿用紙サイズは、A4（横 210mm、縦 297mm）とし、マージンは次のように設定してください。

上：25mm 下：27mm 左：23mm 右：25mm

##### (3) 書式

###### ア) 文字

文字は 10.5 ポイント以上としてください。

上下左右のマージンいっばいに、1 行 40 字、1 ページ 40 行、横書きを標準として印字してください。使用ソフトの仕様上、この組み合わせができない場合は、上下左右のマージン内に必ず収まるようにしてください。

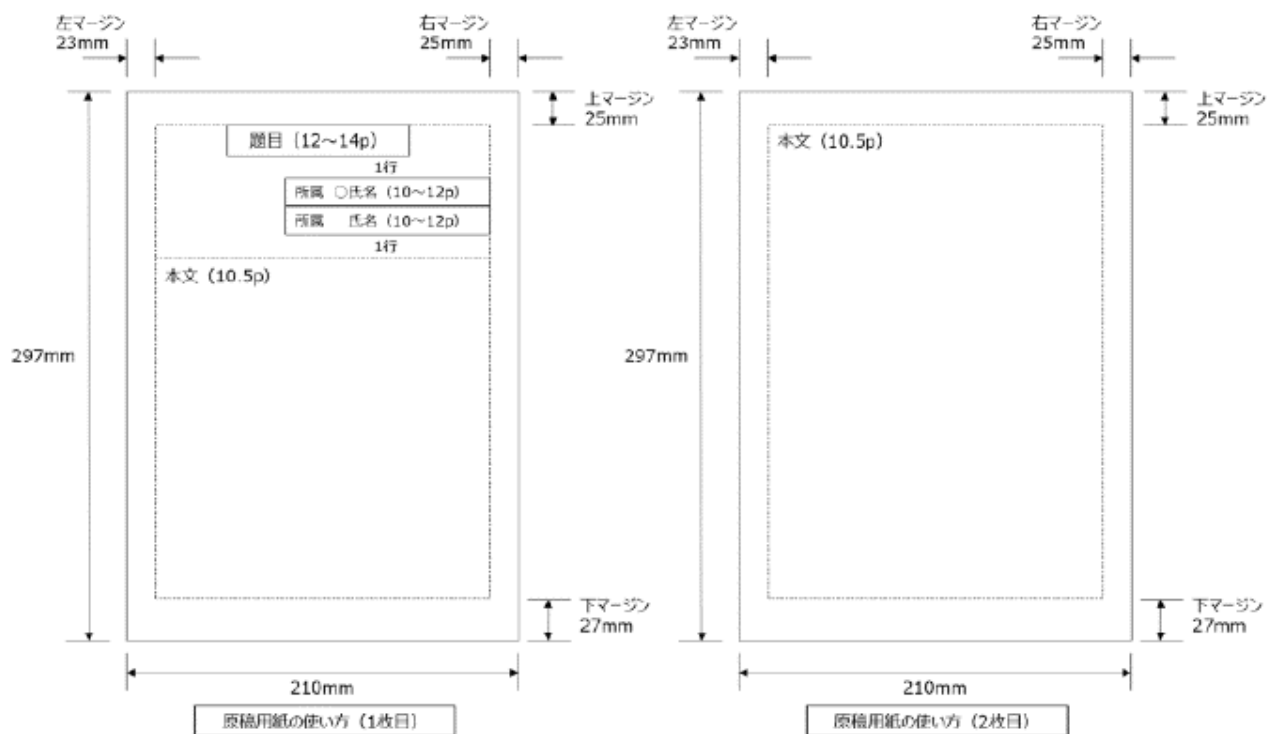
###### イ) 題目・所属・氏名・本文

原稿の題目は、1 ページ目第 1 行に中央で寄せて書き、所属・氏名（連名の場合は口頭発表者名の前に○印）は第 3 行目右側に寄せて書き、本文は第 5 行目から書き始めてください。2 ページ目は第 1 行目から書いてください。

###### ウ) 図・表・写真

本文とともに原稿用紙に書き込み（あるいは貼り付け）、幅いっばいにならないものは右側に寄せ、左側の空白に本文を書くようにしてください。

図・表作成の際、縮小印刷されても見づらくなならないよう留意してください。



## 5. 著作権

講演要旨集に掲載された要旨等の著作権（著作財産権，コピーライト）は，公益社団法人 農業農村工学会に帰属します。また，記載された講演の概要および図，表，参考文献の数は，科学技術振興機構（JST）に提供されます。